

第25回記念テレワーク推進賞 ～多様な働き方大賞～



表彰式 オープニングと審査講評



表彰式 各社授与式と受賞コメント



第25回記念テレワーク推進賞 受賞企業・団体一覧

■会長賞



会長賞
日本情報通信株式会社



■実践部門



優秀賞
東洋通信工業株式会社



奨励賞
株式会社Colors



奨励賞
ネクスカット株式会社



特別賞
フジ住宅株式会社



■普及貢献/ビジネス創出部門



優秀賞
岡崎市



奨励賞
株式会社HQ



■ユニークな取り組み部門



ユニーク賞
株式会社シーエーシー



※上記企業・団体は各カテゴリ内、各賞内で50音順になっております。

— 第25回記念テレワーク推進賞事例集ダウンロード

事例集ダウンロード

クリックしてダウンロード！

【第25回記念テレワーク推進賞 表彰式概要】

■日時：12月9日(月) 13:30-17:00

■会場：大崎ブライトコアホール (東京都品川区北品川5丁目5-15) リアル開催 (後日YouTube配信)

■詳細： https://archive.japan-telework.or.jp/jta_annual_conference_2024/

▶プログラム [表彰式プログラム](#)

これからの「柔軟で多様性のある働き方」実現のためにテレワークが果たすべき役割を考える

				
全日本空輸株式会社 執行役員 労政部長 山本 勝敏 様	第一合成株式会社 代表取締役 河野 良子 様	東京工業大学 名誉教授 比嘉 邦彦 様	日本テレワーク協会 会長 栗原 博	<モデレータ> 日本テレワーク協会 事務局長 村田 瑞枝

▶ プレミアムトーク資料  [プレミアムトークセッション資料集](#)



■ 取り組み事例発表

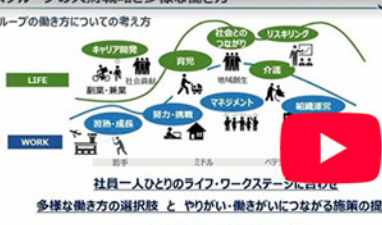
全日本空輸株式会社

<第25回記念テレワーク推進賞 表彰式> プレミアムトーク

一般社団法人日本テレワーク協会

3. ANAグループの人財戦略と多様な働き方

3) ANAグループの働き方についての考え方



社員一人ひとりのライフ・ワークステージに合わせた
多様な働き方の選択と やりがい・働きがいにつながる施策の提供

充実感と達成感＝エンゲージメントの向上

社員とその家族の幸せ

多様な個人の力を引き出し、組織の力を高め、新たな価値創造へ

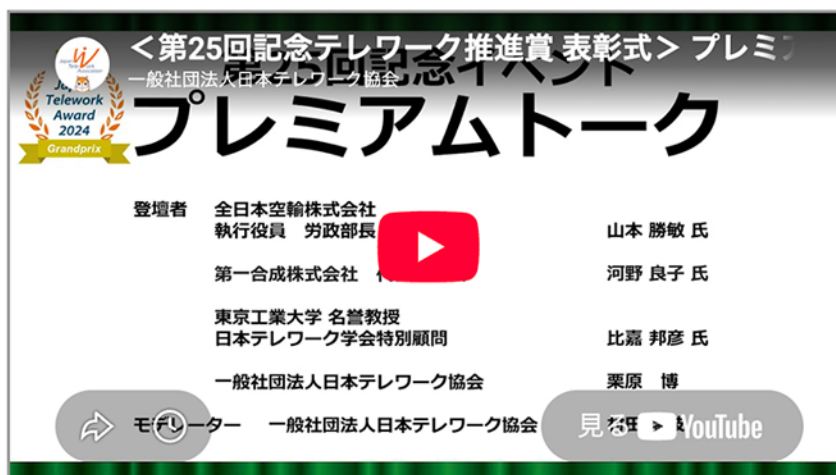
全日本空輸株式会社

見る  YouTube

第一合成株式会社



■パネルディスカッション



過去のテレワーク推進賞受賞事例、応募事例動画は、JTA PracticeGalleryでご覧いただけます。併せてご視聴ください！

<https://archive.japan-telework.or.jp/jta-practice-gallery/>



第25回記念 テレワーク推進賞の概要 (終了しました)

- 事業の目的 テレワークの実践事例を広く収集し周知するとともに、優れた取り組みを顕彰することでテレワークのさらなる普及、定着による柔軟で多様な働き方の拡大、進化を図る。
- 概要 テレワークを活用した柔軟な働き方、暮らし方の実践事例や、今までにない新しい取り組みを広く募集し、優れた取り組みを表彰し、これらの事例をJTA Practice Galleryに登録し広く社会に周知する。

- 日程
- ・募集期間 6月3日(月)～9月9日(月)
 - ・受賞者発表 11月上旬
 - ・表彰式 12月9日(月)
- 応募方法 専用応募サイトへのYouTube動画登録
- 応募資格 特にありません。民間企業、団体、自治体はじめ個人も応募可能 (応募無料)
- 募集カテゴリ
- 【実践部門】
- 時間と場所にとらわれない柔軟で多様な働き方や生活スタイル実現のための取り組みや社会課題の解決につながっている取り組み。※今年度は特に育児・介護支援につながっている取組み、建設業・物流業の取組み、先進的なデジタル技術(AI,メタバース等)を活用した取組みの応募をお待ちしています。
- 【普及貢献/ビジネス創出部門】
- ビジネスを通じてテレワークの普及に貢献している取組みや新たなビジネスを創出している事例
- 【ユニークな取り組み部門】
- 従来の形にとらわれない自由な発想のユニークなテレワークの取り組み
- 審査方法 形式審査後、審査委員会による厳正な審査の上、日本テレワーク協会にて受賞者を決定する。
(希望者にはプレ形式審査を実施する)
- 受賞者発表 受賞者は日本テレワーク協会が報道発表するほか、ホームページ、メルマガ等で広く周知する

<受賞ロゴ>

※受賞者にご提供



<登録ロゴ>

※応募者全員にご提供
(形式審査通過者)



テレワーク推進賞とは



「テレワーク推進賞」は、一般社団法人日本テレワーク協会が主催する、2000年(平成12年)にスタートした国内でもっとも歴史のあるテレワークに関する表彰事業です。

テレワークを導入・活用した、または普及に貢献した企業・団体等を顕彰し、働き方の選択肢増加による柔軟な働き方の実現により社会に貢献することを目指します。

受賞企業は、専門家、有識者による厳正な審査によって決定します。

これまでに延べ351の企業、団体、個人を表彰し、その取り組みを広く社会に周知して参りました。開始当時は大企業のサテライトオフィス活用など限られた範囲での表彰事業でしたが、近年ではコロナ禍を契機としたテレワークの急速な拡大もあり、中小企業や各種団体、地方自治体からも多くのご応募をいただいています。

また、受賞によりイメージアップ、従業員エンゲージメントの向上、採用活動でのPR効果拡大、など様々な効果につながっています。

テレワーク活用による柔軟な働き方実現のための取組み、工夫は各社様々です。是非、皆様の取組みのご応募をお待ちしております。

— テレワーク推進賞事例

ご応募いただいた取り組みは「JTA Practice Gallery」でご覧いただけます。
是非、テレワーク推進のヒントにいただければと存じます。



JTA Practice Gallery テレワーク推進賞 事例の紹介

— テレワークは「三方よし」（経営によし、働き手によし、社会によし）

比嘉邦彦審査委員長

テレワークには三方よし（経営によし、働き手によし、社会によし）のメリットがあります。実際に、新型コロナのパンデミック下では、テレワークの「三方よし」の一端を多くの人が実感したことでしょう。テレワークを体験したワーカーの圧倒的多数がテレワークの継続を希望していることが各種アンケート結果から判明しています。しかしながら、パンデミック収束後に通勤ラッシュが戻ってしまっています。残念ながら、経営層の大半がテレワークの「経営によし」のメリットに気づいておらず、テレワークを単なる非常事態時の事業継続の手段としてしか理解していないのではないのでしょうか。今回のパンデミック以前に問題となっていた「人手不足」・「介護離職」等々の重大な経営課題が既に戻ってきていますが、テレワークはこれらの課題解決に有効と考えています。テレワークにより、「求人への応募者数が増えた」・「離職率が改善した」・「優秀な人材を確保できた」・「生産性が向上した」・「大幅コスト削減ができた」・「働き方改革が達成できた」等々の「経営によし」のメリットを実現できた企業・団体は少なからず存在していると思っています。

日本テレワーク協会が主催するテレワーク推進賞は、日本で最も歴史があり、今回は記念すべき第25回目の表彰となります。テレワークによる「三方よし」を実現している、或いは、テレワークの新たな活用方法を実現している企業・団体からの応募をお待ちしています。

審査委員長
比嘉 邦彦
東京工業大学名誉教授



— 受賞者のその後

テレワーク推進賞で表彰された、優れた取り組みをしている企業の「イマ」はどんな感じなのでしょう
か？

受賞を1つのステップとして、着実に歩みを続けている皆様のお話をお伺いしました。
テレワーク推進賞であなたの組織もこのように変わっていくかもしれません。



受賞者インタビュー リコージャパン様

第23回テレワーク推進賞(2022年度)で特別賞を受賞されたリコージャパンの皆様にお話を伺いました。(5分27秒)



受賞者インタビュー 富良野市様

第23回テレワーク推進賞(2022年度)で促進部門奨励賞を受賞された富良野市の松野様にお話を伺いました。(5分25秒)



登録ロゴについて

日本テレワーク協会はテレワークの取り組み事例を蓄積、公開することで更なるテレワークの普及、啓発を図ります。「第24回テレワーク推進賞」に応募された事例に対し登録審査を通過した事例を「JTAテレワーク事例DB」(9月稼働予定)に登録し広く公開します。DBに登録された企業、団体、個人へは登録を示すロゴマークをご提供します。このロゴマークは名刺やHP等に記載し応募企業、団体、個人のイメージアップにつなげていただけます。



お問合せ

一般社団法人日本テレワーク協会「テレワーク推進賞」事務局 担当：関
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-103 東京パークタワー2階
TEL：03-5577-4572 携帯：080-7723-6261
e-mail：sekis@japan-telework.or.jp CC：suishinsyo@japan-telework.or.jp